

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和元 年度

市町村名	蕨市			
提案事業名	蕨市市制施行60周年を契機とした まちの魅力発信とシビックプライド醸成事業			
事業期間	令和元 年度	～	令和元 年度	
事業の必要性、目的	<p>本市は、昭和44年に市制施行10周年を記念して「蕨市民憲章」を制定して以降、各地域においてコミュニティづくりを展開し、コンパクトな市域であることを活かしながら、市民と行政が一体となってコミュニティ活動に取り組んできた。しかしながら、少子化・高齢化などの社会経済情勢の変化に伴い、コミュニティ活動への参加者の固定化・高齢化が進んでいる。</p> <p>また、本市は20代の市民の転出入や、30代の転出が多いという特徴があり、そうした世代がまちに愛着を抱き、定住したくなるまちづくり等を進めることが重要な課題である。市民意識調査では、「あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。」という質問を毎年行っているが、直近5か年の結果を見ると、この質問に「感じている」と回答した割合が70%前後と、一定の数字が挙がる結果となっている。</p> <p>このことから、本事業は令和元年度の蕨市市制施行60周年を契機に、記念グッズの製作等をはじめ、市民の皆さんと手を取り合いながらさまざまな事業を実施、また、市民の皆さんに参加してもらうことで、市民の交流や地域における触れ合いの輪やまちの魅力を広げながら、本市の良さを再確認・再発見し、まちへの愛着を深めてもらうことを目的とする。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標)			
	蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていると思う市民の割合			
	(成果検証の具体的な方法)			
	毎年実施している市民意識調査で把握			
	(上記の指標を設定した理由)			
	今事業が、市民の市への更なる愛着の醸成と市制施行60周年の機運の醸成を図ることを大きな目標としているため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (H30年12月現在)	73.30%	目標値 (R2年12月時点)	75.00%
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
	住民への公表方法及び特記事項			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

令和元年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 市制施行60周年記念事業	ソフト 記念映像やビッグフラッグ、記念グッズの製作等を通じて、市内外へのプロモーションを実施するとともに、市民がまちへの愛着を更に豊かにする大切な機会となる。また、市外へ市の魅力の周知や市への愛着の醸成や魅力あるまちづくりにつながる。	2,114
	合計	2,114

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市制施行60周年記念グッズ製作や各種事業の実施を通じたレガシーの創出により、総合的に蕨市の魅力を向上させる。60周年記念事業では様々な催し等を実施するので、多くの市民の参加が見込まれ、あらゆる市民への効果が期待できる。
成果指標の達成見込み	直近5か年を見ると、平成28年度市民意識調査以外については75%を上回っていないが、平成30年度においては73%を上回っており、平成29年度から上昇していることと、60周年事業による愛着の更なる醸成により、実現は可能と思われる。

(記入上の注意)

**【成果指標の設定】**

・住民への公表方法は具体的に記述すること

**【成果指標と構成事業の関連性】**

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業  
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、  
事業費の下に( )書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。